



ルルブル通信

夏休みもおうちでルルブル！

★ルルブル・エコチャレンジ★

昨年度に引き続き、今年度もたくさんの子供たちに取り組んでもらいました。実施した小学校や幼稚園、保育所等からは、「子供たちが喜んで取り組んでいました！」「夏休みが終わってからも継続したいです」などといううれしい声も多数いただきました。

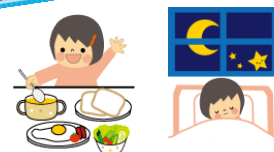
室内でのテレビゲームを外遊びに。夜10時の就寝時間を夜9時に。
ルルブルを続けることが、少しずつエコにもつながります！夏休みが終わった後も、家族みんなでルルブルを続けましょう。



★小学生ルルブルポスターコンクール★

「寝ル・食ベル・遊ブ」の3部門で募集し、今年度は300点近くのポスター作品が届きました！！たくさんのご応募、ありがとうございました！

入賞作品・優秀作品については、県庁2階回廊に展示予定です。詳細が決定次第、ホームページ等でご案内します。



「ルルブルロックンロール♪教室」レポート

8月22日(火)、仙台市のアスク愛子保育園で行った「ルルブルロックンロール♪教室」の様子をお伝えします。当日は、園児の皆さんと先生方、あわせて100名以上に参加していただきました！



「ルルブルキャラバン隊」のおにいさん・おねえさんが先生になって、紙芝居とボードで「ルルブル」について勉強した園児の皆さん。おにいさん・おねえさんのお話に真剣に耳を傾け、「しっかり～？」「寝ルルー！！」「きちんと～？」「食ベルルー！！」と、掛け合いもとても元気よく、完璧におさらいできていました。

ルルブルを覚えた後は、いよいよダンスタイムです。部屋いっぱいに広がって、先生方もみんな一緒に、元気にルルブルロックンロール♪を踊っていただきました。最後は皆さん思い思いの決めポーズで締めくくりました！



教室終了後、おにいさん・おねえさんから「ルルブルロックンロール♪マスター」のステッカーと縄跳びのプレゼントがありました。これでみんな、ルルブルはバッチリですね！

アスク愛子保育園の皆さん、どうもありがとうございました！

新会員紹介

みやぎっ子ルルブル推進会議の趣旨にご賛同いただき、
新たに会員になられた皆様を紹介します。

(平成 29 年 6 月 13 日から 9 月 15 日までの間に登録された 2 企業・団体)



★企業・団体名(登録順・敬称略)★

■株式会社山一地所

■空調技工株式会社

登録数 合計 423 企業・団体 (平成 29 年 9 月 15 日現在)

★みやぎっ子ルルブル推進会議登録会員の皆さまへ★

事務局ホームページに、「ルルブル実践 GUIDE」を掲載しています！

子供は家庭や社会の生活リズムに大きく影響を受けることから、まずは大人が
ルルブルについて理解し、実践しましょう！

各企業・団体においては、従業員の方などがルルブルの大切さを常に意識できる
よう、ルルブル通信やポスター、パンフレットを職場内に掲示するなど、ルルブル
の普及啓発にご協力をお願いします！



平成 28 年度 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体 取組紹介②

昨年度のみやぎっ子ルルブル推進優良活動団体のうち、今回は、保育所・幼稚園部門から仙台市上野山保育所の取組を紹介します。

仙台市上野山保育所

～ 楽しく食べて元気な子 ～



取組の内容

野菜の栽培とクッキングに取り組むほか、保護者参加の保育参観・懇談会の際、おやつや給食の試食を出して、栄養士から年齢に応じた食に関することを伝えていきます。また、はだし保育を推奨し、年間を通じてビーチサンダルや裸足で過ごしているほか、散歩やマラソン、年齢に合った運動遊び、巧技台、平均台渡り、マット遊び、鉄棒、跳び箱、縄跳びなどに取り組み、運動会で披露しています。さらに、1 年を通じてリズム遊びに取り組んでいます。

取組の成果

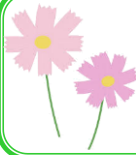
野菜嫌いな子も食べるようになったほか、家庭でも食への関心が高まり、一緒にクッキングをしたり、試食した給食のレシピを家庭でも作って食べたりしています。また、サンダルや裸足で過ごすことで風邪をひきにくく、ここ数年、病欠の子が少なく、長い時間歩ける子が多くなりました。さらに、用具や遊具を使った身体の使い方が上手になってきています。

- みやぎっ子ルルブル推進会議では、会議の趣旨にご賛同いただける登録会員を募集しています。
詳しくは、下記HP掲載の会議規約をご確認の上、登録書様式によりお申し込みください。
- ルルブルに関する取組事例や情報等がありましたら、下記までご連絡ください。

担当：みやぎっ子ルルブル推進会議事務局（宮城県教育庁教育企画室）

TEL：022-211-3616 Email：kyoikupp@pref.miyagi.lg.jp

URL：<http://www.pref.miyagi.jp/site/ruruburu/>



平成29年度第1回「学ぶ土台づくり」研修会を開催しました！

平成27年度から開催している「学ぶ土台づくり」研修会ですが、今年度は年2回に開催回数を増やし実施します。また、内容としては次年度から本格実施となる「幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に関するものとなっています。

去る8月26日（土）には今年度第1回目の研修会を開催し、幼稚園教諭や保育士、小学校教員など101名が参加しました。

〈参加者の感想より〉

・ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が示されたが、到達すべき目標や取り出されて指導するものではないことを幼児教育施設の職員だけでなく小学校教諭も理解した上で、幼保小連携に取り組めるとよいと感じた。



第1回研修会の様子

・ 幼保小の歩み寄りが、子供の育ちや教育の質の向上にとっても重要だということ学べた。

11月7日（火）には、第2回目として、昨年度好評だったワークショップ形式の研修会を予定しています。現在参加者を募集していますので、ぜひ参加をお待ちしています。（参加申込用紙は当室ホームページからダウンロードできます。）

〈平成29年度第2回「学ぶ土台づくり」研修会〉

日時：平成29年11月7日（火）14:00～16:15

場所：登米市中田農村環境改善センター

内容：講話・ワールド・カフェ

「学習指導要領・教育要領・保育指針の改訂と幼保小の接続について」

講師：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科子ども生活専攻

教授 三浦 主博 氏

主催：宮城県教育委員会

平成29年度
第2回「学ぶ土台づくり」研修会
参加者募集！

お互いの「学び」を知る絶好の機会です。幼稚園・保育所等から小学校への円滑な接続に向けて、まずは語り合いませんか？

期日：平成29年11月7日（火）
会場：登米市中田農村環境改善センター
多目的ホール（登米市中田町上沼字西桜樹1-8）
時間：午後2時から午後4時15分まで

【内容】講話・ワールド・カフェ
「学習指導要領・教育要領・保育指針の改訂と幼保小の接続について」
講師：東北生活文化大学短期大学部
生活文化学科子ども生活専攻 教授 三浦 主博 氏

「学びませんか？」
東北生活文化大学短期大学部生活文化学科子ども生活専攻
「学ぶ土台づくり」研修会
「学び合おう」の場を設け、お互いの「学び」を知る絶好の機会です。幼稚園・保育所等から小学校への円滑な接続に向けて、まずは語り合いませんか？

ワールド・カフェとは、グループごとに異なるテーマを設定し、各グループで話し合い、意見を交換し、最後に全員で話し合います。

募集人数 100名
（定員に達した時点で締め切ります）

募集対象 幼稚園教員、保育士、保育教諭、小学校教員、等

応募方法 簡易の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、宮城県教育庁教育企画課までにお申し込みください。

申込締切 平成29年9月29日（金）締切

お問い合わせ：宮城県教育庁教育企画課 〒980-8423 仙台市青葉区本町三丁目6-1
TEL:022-211-3616 FAX:022-211-3699
E-mail:kyokup@pref.miyagi.lg.jp

その他の研修会のお知らせ

国立花山青少年自然の家から研修会のお知らせが届きました。こちらの研修会への参加もぜひご検討ください。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を学ぶ

～幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂の方向性と

幼児の運動プログラム体験会～

日時：平成29年12月8日（金）17時～9日（土）12時

場所：国立花山青少年自然の家

講師：田中壮一郎氏（前国立青少年教育振興機構理事長）

河合優子氏（文部科学省幼児教育課調査官）

鎮目健太氏（厚生労働省保育課専門官）

鈴木みゆき氏（国立青少年教育振興機構理事長）

問合せ先：国立花山青少年自然の家 TEL：0228-56-2311（担当：八鍬，山田，田村）

申込締切：平成29年10月31日（火）（定員になり次第締切）

※詳しくは国立花山青少年自然の家のホームページをご覧ください。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を学ぶ
～幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂の方向性と
幼児の運動プログラム体験会～

日時
平成29年12月8日（金）17時
（受付16時30分）～9日（土）12時

場所
国立花山青少年自然の家
〒987-2593 東宮市山字花山61-1
TEL 0228-56-2311 FAX 0228-56-2469

講師
田中 壮一郎氏（前国立青少年教育振興機構理事長）
河合 優子氏（文部科学省幼児教育課調査官）
鎮目 健太氏（厚生労働省保育課専門官）
鈴木 みゆき氏（国立青少年教育振興機構理事長）

募集 幼稚園教諭・保育士・大学等
幼児教育関係者・学生 50名

幼稚園教諭・保育士のための研修会
8日（金）
幼児の運動プログラム体験会
9日（土）
特別講演「幼稚園・保育所・認定こども園の連携と円滑な接続」
シンポジウム「幼保連携型認定こども園の取組」

主催
国立青少年教育振興機構
国立花山青少年自然の家

主管
国立花山青少年自然の家

後援
宮城県、宮城県教育委員会、東宮市教育委員会、大崎町教育委員会、登米市教育委員会

幼児教育アドバイザー派遣事業について

今年度から開始した「幼児教育アドバイザー派遣事業」ですが、「どんな事業かしら?」「ちょっと相談してみたけど…」と、気になるものの申し込むまでには至っていない先生方の声を聞くことがあります。

そこで、現在までの訪問の現状(様子)をお知らせします。

Q1 申込み(訪問)数は?

A 現在までに13園(所)(公立幼稚園(2), 私立幼稚園(2), 公立保育所(2), 私立保育所(3) 認定こども園(2), 認可外保育施設(2))からの申込みがあり, うち8園(所)を訪問しました。

Q2 訪問の内容は?

A 事業の実施要項の中では, 大きく3つ(園内研修等のサポートに関する事, 幼児教育・保育相談等に関する事, その他 幼稚園教諭や保育士等の資質の向上に関する事)を挙げていますが, 実際には公開保育に向けた研修のサポートや気になる子の小学校へのつなぎ方の相談など様々な内容となっています。



Q3 事前に準備することは?

A 園内研修等のコーディネートを行う場合は, 事前に園(所)へ行き, 1時間程度の事前打合せを行っています。訪問の内容によって, 指導計画や幼稚園の概要が分かるもの, 模造紙等を準備していただくことがあります。

Q4 訪問を受けた園(所)の感想は?

報告書から抜粋

A 「私立幼稚園にとって公立幼稚園の指導計画や研究への取組を知る機会はほとんどないので, 参考となった。」
「外部の先生方に見ていただいて, 様々な角度からいろいろな情報や指導をいただき, 依頼してよかった。」
「受講した研修会や講義の内容を復命しても伝わらない部分があるが, 園内で同じアドバイスを受け, 共通理解し, 取組を進めていけるのはとてもよい。」
「一施設だけで解消できない不安や疑問をこのような形でサポートいただける機会があるというのはとても心強く, 職員の励みにもなる。」

アドバイザーという名のとおり, 大学の先生方のような講義や指導ということではなく, それぞれの園や所の悩みや課題について, 一緒に話し合いながら考えていくというスタンスで実施しています。事業初年度でありますので, 皆さんの要望や意見を参考に, 改善しながらよりよい事業にしていきたいと思っています。気になる方はお気軽にご連絡ください。

「学ぶ土台づくり」ワンポイント講座

自然体験の大切さは, もう十分ご存知と思いますが, 実際何をするかと考えると, 困ってしまう方も多いのではないのでしょうか。何も困ることはありません。「夜, きれいな月を眺める」「虫の音に耳をすます」身近なところに貴重な体験はあります。秋は身近で様々な自然体験ができそうですね。

担当: 宮城県教育庁教育企画室 TEL: (022)211-3616 FAX: (022)211-3699

検索 学ぶ土台づくり

Email: kyoikupp@pref.miyagi.lg.jp

URL: <http://www.pref.miyagi.jp/site/manabudodai/>

